


## 令和3年 ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立 多伎中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
全学年	総合的な学習 の時間	多伎中タイム体験活動	地域の人（町内の各分野の専門の方、 風の子楽習館スタッフ）
ねらい	地域の方に来ていただき、日本の伝統文化について教わりふれあう ことで、故郷を愛する心情を育て伝統を守り伝える気持ちを養う。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>1) 6つのグループに分かれ、体験活動をする。 (折り紙、わら細工、竹とんぼ、書道、生け花、ふるさとの写真)</p> <p>2) 文化祭で作品を展示する。</p> <p>3) 感想やお礼の手紙を書く。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>1) 地域の様々な経験や特技を持つ「ひと」と関わることを通して、自分や周りの人、ふるさとの大切さに気付く。</p> <p>2) 作品を鑑賞し合うことにより、ふるさとの素晴らしさの認識をより深める。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>1) 日本の伝統文化や「ふるさと」について、より深く学ぶ。</p> <p>2) 「ひと」との関わりや作品の製作を通して、表現力を身に付ける。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>1) 地域の方々とふれあうことにより、地域への関心が高まった。</p> <p>2) 身近にあるふるさとの財産について、気づき、積極的に親しもうとする姿が見られた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>1) 地域の特技をもった「ひと」とのふれあいを通して、生きた体験ができ、その文化に親しんだことで、より深く学ぶことができた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>1) 高齢化により、今までお世話になっていた方に頼むことが難しくなっている。</p> <p>2) 地域の方も生徒との交流を楽しみにしておられる。よりよい交流ができるように工夫していきたい。</p>			
			

\* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)